

2025年

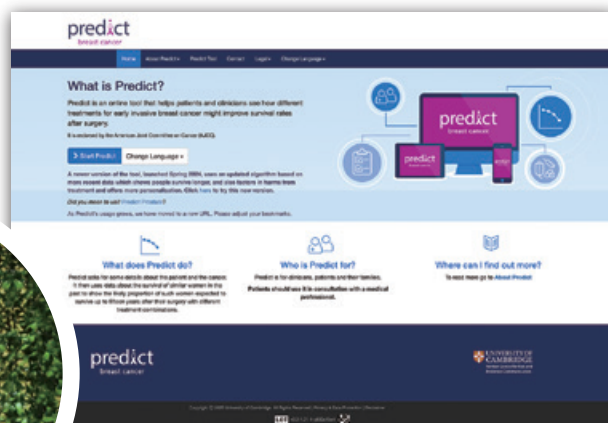
11/30 日 14:40-16:45

参加費無料

場所 京都アカデミアフォーラム in 丸の内 + オンライン
(東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階)

データサイエンスにおける
予後予測システムの開発と実装

乳癌を題材として



Predict Breast Webサイト <https://breast.predict.cam/>

講師 Paul Pharoah 教授 (アメリカ、ビバリーヒルズ Cedars-Sinai 病院 / 前ケンブリッジ大学教授)

Paul Pharoah 教授はイギリス・ケンブリッジ大学で乳癌患者の予後予測モデル Predict Breast の開発に従事されてきました。2009 年から Web サイトで医療者と患者の治療法選択の意思決定のツールの医療機器ソフトとして提供されています。今回のスクールは、予後予測モデルの開発の方法論を開発者から直接学べる貴重な機会です。多くの学生、研究者、プログラム医療機器の開発者の方々の参加をお待ちしております。

講師プロフィール Paul Pharoah 教授

アメリカ、ビバリーヒルズ Cedars-Sinai 病院 Computational Biomedicine 部門 教授 / 医師

1983 年にケンブリッジ大学を卒業。その後オックスフォード大学で臨床医学を学び、2000 年にケンブリッジ大学で Genetic epidemiology をテーマに博士号取得。約 10 年間ケンブリッジ大学公衆衛生学 Centre For Cancer Genetic Epidemiology 教授として活躍し、2022 年 11 月から現職。

自身の Methods and technologies は Public health, Statistical analysis と紹介しており、直近では An updated PREDICT breast cancer prognostic model including the benefits and harms of radiotherapy, NPJ Breast Cancer. 2024 Jan 15;10(1):6. など一連の Predict Breast に関する多数の著作がある。



詳細はこちら

<https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/2025november/>

掲載情報は
順次更新
いたします



School 121

データサイエンスにおける 予後予測システムの開発と実装 —— 乳癌を題材として ——

プログラム

14:20ー	会場受付
14:40ー14:55	今回のスクールについて説明 石塚直樹(京都大学医学研究科附属医療DX教育研究センター)
14:55ー16:30	講義「予後予測システムの開発と実装：乳癌を題材として」 前半45分 途中5分休憩 後半45分(予定) 講師：Paul Pharoah(アメリカ、ピバリーヒルズ Cedars-Sinai 病院) 司会：水澤純基(国立がん研究センター研究支援センター)
16:30ー16:45	質疑応答ならびに総合討論 司会：水澤純基(国立がん研究センター研究支援センター)



石塚直樹

京都大学医学研究科
附属医療DX教育研究センター
特定教授



Paul Pharoah

アメリカ、ピバリーヒルズ Cedars-Sinai 病院
Computational Biomedicine 部門
教授



水澤純基

国立がん研究センター
研究支援センター 生物統計部
生物統計室長

対象

乳癌の予後予測モデルの開発に関心のある
京都大学ならびに他大学等の大学生・研究者・開発者

定員

会場：50名 オンライン：50名

※定員になり次第受付終了します。

申込方法

下記ページにて、専用フォームからお申込みください。

<https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/2025november/>



会場アクセス



最寄駅：JR「東京駅」／東京メトロ丸の内線「東京駅」

京都アカデミアフォーラム in 丸の内 Web サイト
<https://www.kyoto-af.jp/>

*止むを得ない事情により、内容が変更となる場合がございます。ご了承下さい。

*個人情報の取得について：取得した個人情報は適切に管理し、本スクールの開催・受付の目的以外には利用いたしません。